

幼稚園だより

ちよだ



6月号

令和 7 年 5 月 3 0 日

千代田区立千代田幼稚園

園長 須藤 敏之

千代田幼稚園の神田祭

園長 須藤 敏之

新緑がまぶしく、日差しの強さに夏の訪れを感じる季節となりました。

5 月には地域の伝統行事「神田祭」が 2 年振りに開催されました。随所に、千代田幼稚園の子どもたちもご家族と一緒に子ども神輿を担いで楽しんでいる様子が窺えました。私たち教職員も地域の伝統行事に触れ、地域の方々との交流を目的に参加させていただきました。

2 日目の日曜日に、本園の子どもたちも交えて一緒に「せいや！せいや！」と威勢よく声を掛け合いながら、町中をお神輿で巡った爽快感は、宝の思い出となりました。私たちを快く受け入れてくださった地域の皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

神田祭が終わった後も、子どもたちはお祭りの高揚感が収まらない様子で、5 歳児すみれ組の子どもたちから、「お神輿を作りたい！」「お祭りがしたい！」という声が聞こえてきました。そんな子どもたちの願いを先生たちが見過ごすはずはありません。すぐさま園内にある材料を集め、子どもたちと一緒に大きな「子ども神輿」を完成させました。即席ではありますが、大きさといい、形といい、なかなかの出来栄です。（写真ご参照）

その列に 4 歳児さくら組の子どもたちも加わり、「ドーン、ドーン」という太鼓と拍子木の音に合わせて、「わっしょい！わっしょい！」という楽しげな声が校庭中に響き渡りました。校庭から 3 階、4 階を見上げてみると、千代田小学校のお兄さん・お姉さんたちが笑顔で子ども神輿を見つめています。子どもたちは得意顔になり、動きも掛け声もどんどん大きくなっていきました。勢い余って、お神輿の一部が壊れるほど張り切って楽しんでいました。



本園の特色ある教育活動の一つに「日本の文化に触れ、親しむ教育」があります。神田祭は園の直接的な行事ではありません。しかし、幼稚園の外を一步出てみると、目の前の公園に大きなお神輿が置かれていたり、町中にポスターや提灯が飾られていたりして祭り一色になっていますので、この時期は、子どもたちはお祭りの中で暮らしているような気分になっていたことでしょう。神田祭は、子どもたちにとって自分の町への愛着と誇りを育む伝統文化であるようにも感じました。千代田幼稚園の神田祭は、まだしばらく続きそうです。

6 月も、本園の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



千代田幼稚園のホームページもご覧ください